



むら 村
かみ 上
とも 智
のり 則 殿

■事績

現在、県立松山東高校2年生の村上さんがピアノを始めたのは5歳の時から。姉が習っているのを見て自分も音を出してみたいと思ったのがきっかけ。その楽しさから気付けば何時間も弾き続けその腕はメキメキと上達、8歳の頃から次々と賞を受賞するようになり、12歳の時には第13回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA の小学5、6年生部門で金賞を獲得すると、金賞受賞者の中で最高位となるショパン協会賞を受賞。2013年には第4回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan の中学生部門で金賞受賞とともに全体の1位となるグランプリを受賞。

さらに翌年には日本クラシック界の代表的な大会の1つ「全日本学生音楽コンクール」の大阪大会中学校の部で、愛媛では60年振りとなる1位を獲得。全国5地区の上位入賞者が集う全国大会で四国で初の3位入賞を果たし注目を浴びた。

高校生となった今でも、平日は学校から帰ってからの4～5時間。休日ともなれば10時間前後ピアノに向かう熱心さで、2016年3月にはポーランド・シレジア・フィルハーモニー管弦楽団と共演した他、ハイクラスのピアニストたちが参加する「ピティナ・ピアノコンペティション」の「特級」部門で、全国から参加150人の中から7人のみのセミファイナリストに選出されるなど更にその力を伸ばしており、世界に羽ばたく可能性を十二分に持つ実力派若手ピアニストとして期待を集めている。

■主な受賞歴

- ・2010年と2012年に「かがやき松山大賞」受賞